

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	22-3																																					
PDCA	主要事業名	地域型保育事業	部課名	子ども未来部 幼児保育課	担当	原田																																					
					内線	417																																					
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 2 単位施策： 幼児教育・保育 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 185,256 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.02.02.50.51																																										
	事業概要等	事業概要： 子ども・子育て支援法の規定により地域型保育事業施設に地域型保育給付費等を支給し、半田市小規模保育事業所延長保育事業費補助金交付要綱に規定する事業の実施に要する経費に対し、補助金を交付する。																																									
		事業目的： 3歳未満児については、年度途中から待機児童が発生しており、地域型保育事業を実施し、保育の必要性のある3歳未満児の受け入れを行う。																																									
		事業内容： 子ども・子育て支援新制度において創設された地域型保育事業を実施し、増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対応することにより、保育環境の拡充を図る。																																									
		問題点・課題等： 年度途中に発生する低年齢児の待機児童対策が必要である。																																									
	予算額	主要事業とする理由																																									
	185,256 千円	地域型保育事業の実施のため、地域型保育給付費、小規模保育事業所延長保育事業費補助金等を適正に支給する必要があるため。																																									
	財源内訳	得られる成果																																									
	市費 46,333 千円	増加する低年齢児の保育ニーズに対応することにより、待機児童解消を図ることができる。																																									
	国費 102,489 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4月1日現在の待機児童数</td> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月1日現在の待機児童数</td> <td>実績値</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他 0 千円</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	4月1日現在の待機児童数	実績値	0	0	—	人	目標値	0	0	0	人	10月1日現在の待機児童数	実績値	0	16	—	人	目標値	0	0	0	人	その他 0 千円	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																							
4月1日現在の待機児童数	実績値	0	0	—	人																																						
	目標値	0	0	0	人																																						
10月1日現在の待機児童数	実績値	0	16	—	人																																						
	目標値	0	0	0	人																																						
その他 0 千円	実績値																																										
	目標値																																										
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																									
	156,799 千円	引き続き低年齢児の保育ニーズに対応してきたが、子育て世代の女性の就業率が上昇傾向であり、0歳児クラスの入所児童数が増加し、結果として年度途中に待機児童が発生した。																																									
	成果指標					令和4年度	単位																																				
	4月1日現在の待機児童数		実績値	0	人																																						
			目標値	0	人																																						
	10月1日現在の待機児童数		実績値	5	人																																						
		目標値	0	人																																							
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>D</b> 子育て世代の女性の就業率が上昇傾向であり、0歳児クラスの入所児童数が利用定員を上回った。昨年度に比べ人数は減少したものの、結果として年度途中に待機児童が発生した。地域型保育事業については、年間を通じて入所率は高く、保育の受け皿として十分機能しているが、依然として待機児童解消には至っていない。 また、原油価格・物価高騰等に伴い給食材料費が高むことによる給食の質の低下を防ぐため、「保育所等給食費軽減対策補助金」の交付を行うことで、保護者の負担なく給食の質を維持することに寄与した。																																									
	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b> 令和元年度に策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、民間保育所の拡充を中心に進め、地域型保育事業の拡充は原則として見込んでいない。低年齢児の保育需要に対しては、令和5年度から花園保育園の民営化、令和7年度には高根保育園の民営化を実施し、待機児童解消のため定員拡充を行う。																																									
A 課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																					
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	余地	ない																																			
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	⑧受益者負担適正化	余地	ある																																			
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																						

目標項目（予算計上時に作成）  
予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）  
主要施策の成果報告書で活用